

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 3 月 31 日

事業名称		救急医療体制整備事業費 [東大和市救急医療体制整備事業補助金事務]										
予算科目	款	4	衛生費	項	1	保健事業費	目	4	地域医療推進費	事業番号	1	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	健康			課			庶務			係	課長名	志村 明子
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	2 - 1		
【施策名】 保健・医療の充実									総合計画書 (ページ)	47		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民					令和3年3月1日時点の人口						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
市民の生命及び健康を守るため、市民の救急医療の需要に応え救急医療にかかる体制整備					二次救急指定医療機関 施設数							
→												
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
不採算医療のうち救急医療に関する項目の特別交付税措置額に基づき、二次救急医療機関に対して補助金を交付する。					特別交付税措置額(補助金額)							
→												
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標				
	対象指標	①の数値	人	85,455	85,284	85,314						
	成果指標	②の数値	機関	1.0	1.0	1.0						
	目 標	②の目標値										
	目標値設定の考え方 特別交付税措置によるため、目標設定は困難である。											
活動指標	③の数値	円	20,626,800	33,524,000	33,524,000							
3 経費	事業費(実績)		円	20,626,800	33,524,000	33,524,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	20,626,800	33,524,000	33,524,000						
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	831,000	838,000						
		職員人件費(再任用)	円									
事業費+人件費		円	21,457,800	34,355,000	34,362,000							
4 環境変化等	(1) 開始年度		27 年度									
	(2) 環境の変化		平成31年度に救急病床数の増加があったため、財源元の特別交付税の算定額に変更があった。									

事業名称	救急医療体制整備事業費 [東大和市救急医療体制整備事業補助金事務]				
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係	課長名 志村 明子

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 医療機関の自主事業として「小児初期平日準夜帯診療事業」を週3日（火、水、金）、19時～21時30分で実施しており、市民等の利用実績があった。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ	取組手法：			
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 なし				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 小児初期平日準夜帯診療事業の市民の利用実績が伸び悩んでいる。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 事業の周知のため市報、HP、チラシ配布を実施した。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 小児初期平日準夜帯診療事業の市民の利用実績が伸び悩んでいる。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 保健・医療の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 さらなる事業の周知のため市報、HP、チラシ配布を積極的に実施する。 小児初期平日準夜帯診療事業の利用が増加するよう引き続き、事業周知の強化を検討する。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	引き続き、小児初期平日準夜帯診療事業の診療日の増、診療時間の拡充について事業者に充実を依頼する。				